

静岡県立大学 平成 28 年度 地(知)の拠点整備事業
(外国人医療を考える会 第 9 回 ワークショップ)

医療通訳への入り口としてのお話しボランティア -外国人入院患者のストレス緩和-

外国人入院患者さんのストレス緩和を目指した研究をはじめました。外国人患者さんのところに通訳ボランティア、医療ボランティアの 2 人でいきます。お話しをして外国人患者さんの入院によるストレスを和らげることを目指します。

皆様と医療通訳の入り口としてのお話しボランティアが成り立つか、将来の可能性について話し合いたいと思います。

1. 情報提供

1)外国人の病院を受診する際の心配事「ことばがわからない」-外国人のための無料健康相談と検診会、初回受診者と複数回受診者のアンケート結果より-

発表者:静岡県立大学看護学部 前野真由美

2)ブラジル人女性について-生活と医療問題を中心に-

発表者:常葉大学 非常勤講師 ホリウチ・アリッセ

2. 皆さんとの話し合い

1)医療通訳の入り口としてのお話しボランティアが成り立つか

是非、ご参加ください。

当日、会場へお越しください。

■ 日 時 ■ 2017 年 1 月 29 日(日)14:00~16:30

■ 会 場 ■ JR 静岡駅ビル パルシェ 7 階 第 C 会議室(静岡市黒金町49)

■ 対 象 ■ 医療通訳経験者、医療従事者、外国人医療に関心のある方

■参加無料 ■

■問い合わせ ■ 静岡県立大学看護学部 前野真由美

TEL/FAX 054-202-2678 E-mail maeno@u-shizuoka-ken.ac.jp

■静岡県立大学 平成 28 年度 地(知)の拠点整備事業
医療通訳への入り口としてのお話しボランティア -外国人入院患者のストレス緩和-

研究メンバー■ 静岡県立大学看護学部 前野真由美、濱井妙子、静岡県立大学国際関係学部 高畑幸、水野かほる、静岡済生会総合病院 岩崎圭介、常葉大学 健康科学部 前野竜太郎

